

手話・ろう者学研究フェス2026 プログラム

テーマ:「ろう者が研究を行うということ」

2026年10月10日(土) 12:30~16:00

慶應義塾大学日吉キャンパス・来往舎1階

参加無料・事前申し込み不要

◆12:00-12:30 受付

◆12:30-14:00 第1部 ポスター発表 イベントテラス 日本手話・書記日本語(通訳なし)

発表者(敬称略・五十音順)

太田結菜(東京都立多摩科学技術高等学校2年)「学習ツールの提案～3Dを活用した気軽に始められる学習方法について～」

後藤真妙子(弘前市聴覚障害者協会)「弘前のろう者の歴史と手話」

澤田利江(NPO法人手話教師センター)「/○○中/の語彙「○○」マウジングに関する考察」

牧野麻奈絵(東京大学大学院工学系研究科博士後期課程)「機内エンターティメントの「字幕の欠如」から広がった研究の世界—博士後期課程での挑戦と、研究室における情報保障の実践—」

松岡和美(慶應義塾大学)「科研費プロジェクト・日本手話科目の紹介」

丸山莉歩(東京大学大学院総合文化研究科修士課程)「日本手話における非利き手の役割」

◆14:00-14:30 休憩

◆14:30-16:00 第2部 フロアディスカッション「ろう研究者と一緒に考えよう」

シンポジウムスペース 日本手話—日本語通訳あり

登壇者(話題提供者):小林洋子(筑波技術大学)・相良啓子(国立国語研究所)

司会:矢野羽衣子

主催:手話・ろう者学研究フェス2026実行委員会

共催:科研費基盤研究(B)「手話言語における談話的特性とその発生:統語論・意味論との連携と応用(課題番号24K00064)」・慶應義塾大学松岡和美研究室・東京手話言語学研究会

後援:慶應義塾大学教養研究センター

問い合わせ先:sldsfses2026@gmail.com